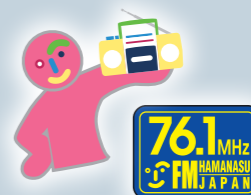


芸術を架け橋に

私たちが生きていく中で、自分の好きなことを見つけ、熱中して取り組むことは誰にでもあることです。そして、その好きなことに生きがいを感じる人も多いのではないのでしょうか。今月号は、障がいを抱えながらも芸術作品の制作をとおして、自分の個性や想いを表現している方を紹介します。また、市は多様な人が暮らすこの社会で、芸術文化が果たす可能性を考え、作品や表現の魅力を発信するイベント「岩見沢アー・ブリュット芸術祭2019」を開催します。

問合先 市福祉課



市職員が出演して
説明します
11月8日(金)
午後5時40分

岩見沢 アール・ブリュット 芸術祭 2019

IWAMIZAWA ART BRUT FESTIVAL 2019

アール・ブリュット

フランスの画家ジャン・デュビュッフェによって生み出された概念で、正規の美術教育を受けていない人による、生の芸術を指します。



貼り絵制作

なかのこうじ
中野孝司さん

「貼り絵ならできるかなと思って始めました」
昔を思い出しながらそう語るの
は、(福)北海道社会福祉事業団福祉村
を利用している中野孝司さん。
仕事をしていた頃は、仕事の合間
に、趣味で絵を描いていたという中



野さんは、仕事を辞めたことをきつ
かけに、10年程前から、貼り絵の制
作に取り組んでいる。
「自分には、できる仕事も限られ
ていて、その仕事もできなくなつた
けど、好きな貼り絵ができて、毎日
充実しています」と笑顔で語る中野
さん。
初めは施設の職員が下絵を描い
て、それに貼り絵をしていたが、支
援員の方は、「他の作家さんの作品
を見て、刺激を受けたようで、今は
自分で下絵を描いています。本人の
生きがいとなっているのでは」と話
す。

示会にも出展しているそう。
作品づくりは、毎回気に入った絵
や写真を参考に、下書きをしてから
取り掛かるそうで、気に入った作品
ができた時は「作品をラミネート加
工して、カレンダーなどにしていま
す」と嬉しそうに話す。
作品制作の合間には、陸上競技や
フライングディスク、スキーなどに
も取り組むなど、精力的に活動して
いる中野さん。今後取り組んでみた
いことを聞くと、「ネット編み刺繍
にも取り組んでいきたい」と意気込
みを語ってくれた。



クラフト作品制作

かわかみゆうや
河上優矢さん

「好きなものを好きなように作っ
ています」
制作途中の作品に囲まれながらそ
う語るの、(福)空知の風を利用して
いる河上優矢さん。
子どもの頃から工作が好きで、今
は大好きな自動車を中心としたクラ



フト作品の制作に取り組んでいる。
タイヤは細い紙をクルクルと巻い
て作り、車体は型紙や設計図などを
書かずフリーハンドで細部まで表現
するなど、作品制作にこだわりを見
せる。完成した作品を後日修正する
ことも、しばしばなのとか。
施設利用当初は、施設の作業も行
いながらであったが、現在は創作・
芸術活動のみを行っている。1日約
5時間作業し、作品完成までに、自
動車1台に2日から3日間、大きな
作品になると3週間程かかるとい
う。「昔と比べ、やる気が違うよう

に感じる」と支援員の方は話す。
そんな河上さんの作品は、2月に
道立帯広美術館で開催された北海道
のアール・ブリュット展にも出展し
ており、自動車の作品は販売もして
いる。「自分で売り込みもしている
んです」と河上さんは笑顔で話す。
クラフト作品のほかにも、オリジ
ナルのポスターや本を制作している
河上さん。今後の抱負を尋ねると「自
分の作品が展示され、評価されると
嬉しくて、やる気が出る。これから
も、たくさんの人に作品を見てもら
いたい」と語ってくれた。



そんな中野さんの作品は、市が実
施するハート&アート展や道外の展





湖南ダンスカンパニー (滋賀県)

まちなか展示

岩見沢の
アール・ブリュット

期間中、中心市街地の店舗などに、岩見沢のアール・ブリュット作品を展示し、芸術祭を盛り上げます。

日本のアール・ブリュット
KOMOREBI 展 in 岩見沢

日程 11月10日(日)～24日(日)
会場 イベントホール赤れんが(有明町南1)

木々の葉を通して差し込む太陽の光を意味する、木漏れ日。ジャパン×ナントプロジェクトで絶大な評価を受けた、日本のアール・ブリュット KOMOREBI 展に出品された作品から、28作家の作品を展示します。



瑞宝太鼓 (長崎県)

岩見沢アール・ブリュット芸術祭

2019

11月10日(日)～24日(日)

入場無料

市は、障がいのある人もない人もともに暮らす共生社会の実現を目指し、北海道教育大学岩見沢校や多くの福祉関連機関と連携しながら、障がい者芸術と地域社会をつなぐ取り組みを進めてきました。今年度は「ジャパン×ナントプロジェクト」を岩見沢市で体感できる、岩見沢アール・ブリュット芸術祭2019を開催します。関連イベントも含め、紹介した中野さんと河上さんの作品展示もありますので、この機会にさまざまなアール・ブリュット作品に触れてみてください。

ジャパン×ナントプロジェクト
フランスのナント市は、文化芸術の力により都市を再生し、フランス国民が選ぶ「最も住みやすい街」の上位に入るなど、世界有数の文化芸術創造都市として注目されています。2017年10月、ナント市で、「ジャパン×ナントプロジェクト」として、日本のアール・ブリュット KOMOREBI 展、ダンスや演劇、伝統芸能の舞台公演、国際研究フォーラムが開催され、フランス国内外から6万人以上が来場しました。

まなみーる市民会館・文化センター(9西4)会場

11月17日(日)

オープニングアクト

時間 午前10時から11時40分
場所 大ホール
ジャパン×ナントプロジェクト出演団体の中から、瑞宝太鼓、湖南ダンスカンパニーが出演。優れた舞台芸術をぜひご覧ください。

ダンスワークショップ

時間 午後1時30分
場所 リハーサル室
ダンスが初めてでも大丈夫。楽しく体を動かして、自分なりのダンスを楽しもう。
定員 20人(申込順)
申込先 11月8日(金)までに、市福祉課へ

国際研究フォーラム

時間 午後3時30分
場所 大ホール
フランス国立現代芸術センターリユー・ユニック館長のパトリック・ギゲールさんの基調講演、元駐スウェーデン日本国特命全権大使の渡邊芳樹さん、元毎日新聞論説委員の野澤和弘さんらによるシンポジウムを開催。

バリアフリー映画「日は好日」上映&トークショー

上映 午後0時30分/トークショー 午後2時10分
場所 大ホール

バリアフリー映画とは、聴覚障がい者用の字幕と視覚障がい者用の音声ガイドの両方をつけた映画のことです。上映後は、監督の大森立嗣さん、出演女優の鶴田真由さん、映画プロデューサーの山上徹二郎さんによるトークショーも。



大森立嗣さん



鶴田真由さん



©2018「日は好日」製作委員会

同時開催

アール・ブリュット
シヨウケース2019

日程 11月24日(日)
時間 午後1時30分
場所 大ホール

北海道、北東北で音楽や演劇、ダンスなどに取り組む人たちが楽しいステージを作ります。パフォーマンスのあとは、指導した先生や支援員の方々に日ごろの練習秘話などを語ってもらうアフタートークも。

11月17日(日)から24日(日)

北海道アール・ブリュット
・No art, No life 展

場所 展示室ほか
全道で活動するアール・ブリュット作家40人以上の作品を一堂に集めて紹介します。

ナントプロジェクト
映像・パネル展

場所 多目的室
ジャパン×ナントプロジェクトのパネル展示や記録映像の上映などを行います。優れた文化芸術の海外発信、国際交流の軌跡とその魅力に触れてみませんか。

11月23日(祝)

音楽指導ワークショップ

時間 午後3時30分
場所 リハーサル室
アフリカの打楽器「ジャンベ」を使い、まずは叩いてみることから始めてみよう。
定員 20人(申込順)
申込先 11月8日(金)までに、市福祉課へ

住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らすためには、お互いの存在を認め合い、それぞれの長所を伸ばしていきける環境をつくる必要があります。障がいのある人が、芸術活動を通じて社会に参加し、その人の個性について周囲が理解を深めていくことができれば、これほど素晴らしいことはありません。市は多様な人が暮らす共生社会の実現に向けて、芸術文化によるまちづくりを進めていきます。